

職場における転倒災害を防ぎましょう！

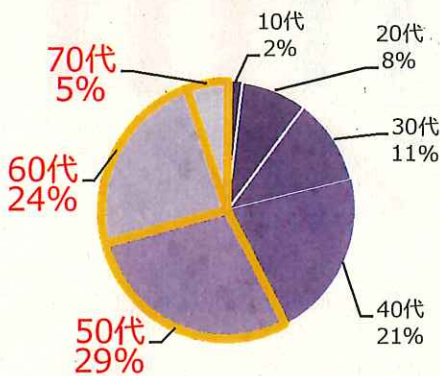
～STOP！転倒災害プロジェクト実施中～

- 転倒災害は、労働災害全体の約4分の1を占めており、被災者の約6割は50歳以上の高齢者です。
- 転倒災害による休業期間は約6割が1ヶ月以上となっており、転倒の原因は、「滑り」や「つまずき」によるものが半数以上を占めています。
- 職場における転倒災害を撲滅するため、裏面のチェックリストを活用した点検を行い、「危険標識や危険マップを活用した転倒リスクの見える化」、「転倒予防教育」、「体操・運動」等により、高齢者対策を含めた職場環境の改善を図りましょう。

都内の転倒災害発生状況

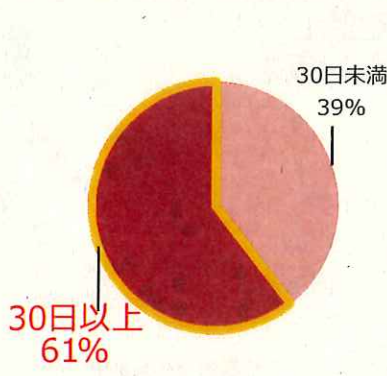


年齢別の転倒災害発生状況 (平成28年、休業4日以上)



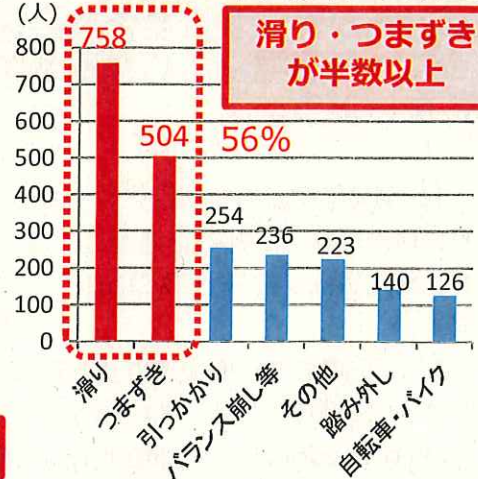
50歳以上が約6割

休業日数別の転倒災害発生状況 (平成28年、休業4日以上)



休業1か月以上が約6割

原因別の転倒災害発生状況 (平成28年、休業4日以上)



(資料出所：労働者死傷病報告)



東京労働局
労働基準監督署

2月・6月は、転倒災害防止の重点取組期間です！

(1) 重点取組期間に実施する事項

- ① 2月の実施事項
 - ア 安全委員会等における転倒災害防止に係る現状と対策の調査審議
 - イ チェックリストを活用した安全委員会等による職場巡視、職場環境の改善や労働者の意識啓発
- ② 6月の実施事項
 - 職場巡視等による転倒災害防止対策の実施状況の確認

(2) 一般的な転倒災害防止対策

- ① 作業通路における段差や凹凸、突起物、継ぎ目等の解消
- ② 4s (整理、整頓、清掃、清潔) の徹底による床面の水濡れ、油汚れ等のほか台車等の障害物の除去

(3) 冬期における転倒災害防止対策

- ① 気象情報の活用によるリスク低減の実施
- ② 通路、作業床の凍結等による危険防止の徹底

あなたの職場は大丈夫?
転倒の危険をチェックしてみましょう

転倒災害防止のためのチェックシート

チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや水、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	安全に移動できるように十分な明るさ(照度)が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>
5	作業靴は、作業現場に合った耐滑性があり、かつちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
6	ヒヤリハット情報を活用して、転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
7	段差のある箇所や滑りやすい場所などに注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
8	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
9	ストレッチ体操や転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>

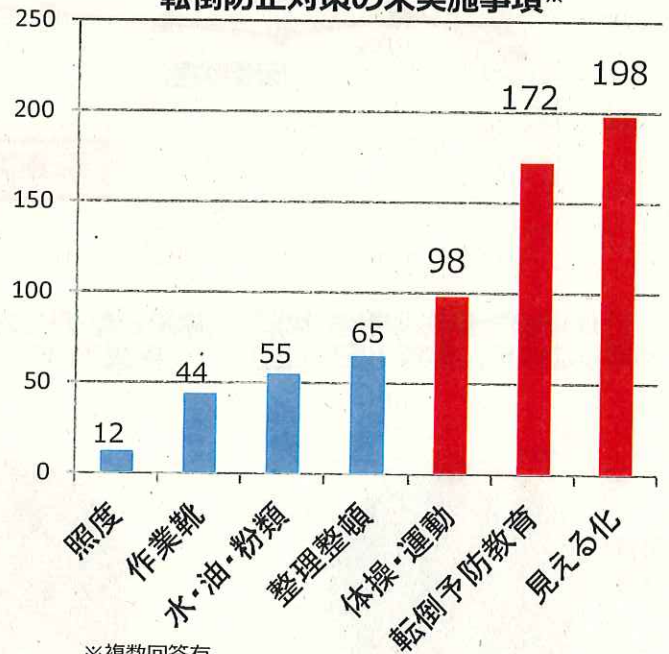
自主点検結果を踏まえた転倒災害の防止対策について

転倒災害発生事業場に対する自主点検の結果、多くの企業において、「危険標識や危険マップを活用した転倒リスクの見える化」、「転倒予防教育」、「体操・運動」が未実施でした。

これらは、加齢により身体機能の低下した高齢者の転倒防止策としても有効な手法です。

転倒防止のためのチェックシートの結果や労働者の年齢分布を踏まえ、どのような対策が有効か安全委員会等で話し合っ、各職場に応じた転倒防止対策を講じましょう。

転倒災害発生事業場における転倒防止対策の未実施事項*



*複数回答有 (資料出所: 転倒災害の再発防止のための自主点検等報告書)

※ 「転倒災害防止のためのチェックシート」や、より具体的な転倒災害防止対策については、STOP! 転倒災害プロジェクト特設ページで入手可能です。

※ 高齢労働者の労働災害防止対策については、「高齢労働者の安全と健康」パンフレットをご参照ください (掲載先アドレスは下記)。

☞ tokyo-roudoukyoku.jsite.mhiw.go.jp/var/rev0/0144/3102/konenrei.pdf